

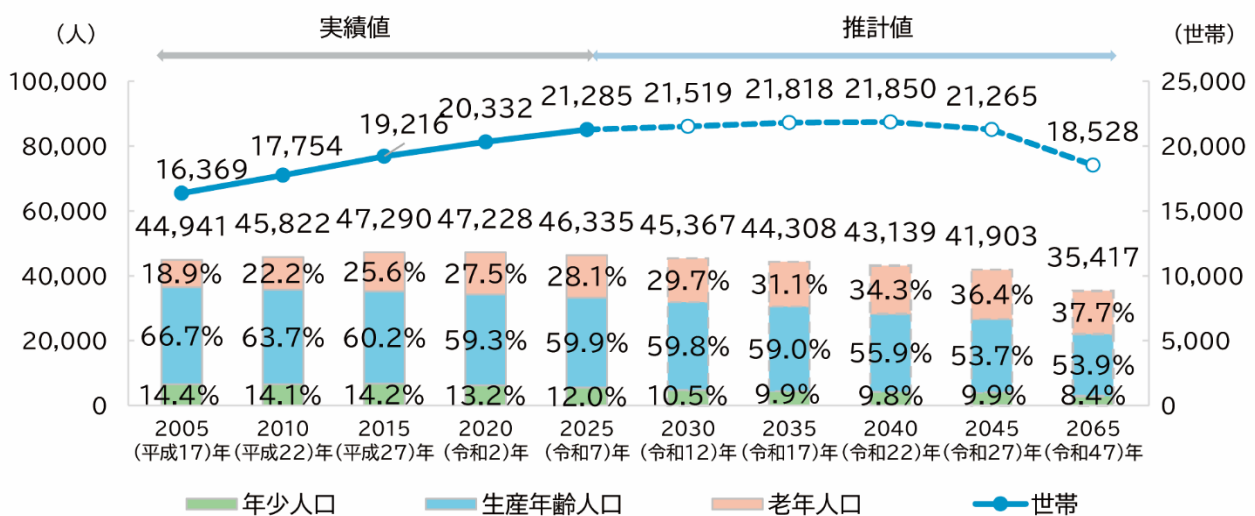
6 富山南部地域

(1) 地域の現状

①人口・世帯数

人口は減少傾向にあり、2025（令和7）年時点で46,335人、高齢化率は28%です。今後、世帯数は2040（令和22）年をピークに減少に転じ、高齢化率は3割を超える見込みです。

■人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し



出典：国勢調査及び富山市将来人口推計報告書（令和7年2月）の各種設定値を活用して、住民基本台帳データを基に250mメッシュ単位で集計処理し、各地域で按分して算出

②歴史・文化

地域内には、富山県総合運動公園をはじめ富山南総合公園や神通川南緑地など、大きな公園や緑地などが立地しており、スポーツ交流や健康増進の拠点となっています。

また、イタイイタイ病資料館や観光施設などが立地しています。

③自然・レクリエーション・景観

扇状地に位置し、広々とした田園地帯が広がり、市街地の南には散居村の農村風景が見られます。西側には神通川、中央部には熊野川が縦断しており、アユの遡上やホタルの生息地になっているなど、豊かな自然環境が残っています。

④公共交通

富山地方鉄道不二越・上滝線の南富山駅などの駅が立地し、国道41号などのバス路線のほか、地域自主運行バスがあります。

⑤土地利用

地域生活拠点である南富山駅周辺から富山地方鉄道不二越・上滝線の沿線を中心に、住宅と商業用地が混在した市街地が広がっています。また、富山 I C や富山空港の周辺は、流通業務や製造業などの企業団地が整備され、工業用地が広がっています。

水田や畑などの農地が地域の4割を占め、市平均と比べ、その割合が高くなっています。

⑥災害

常願寺川の扇状地に形成された住宅地であり、洪水の影響を受けやすく、雨水出水・神通川及び支流(熊野川や土川)の洪水などの影響もあるため、防災行動の強化や防災拠点などの懸念があります。

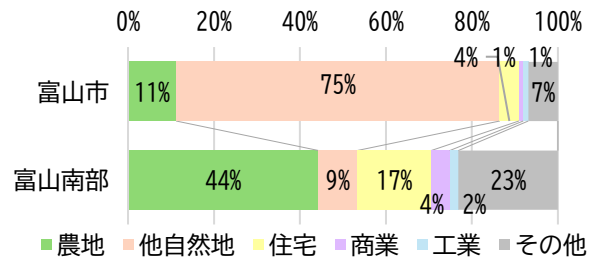
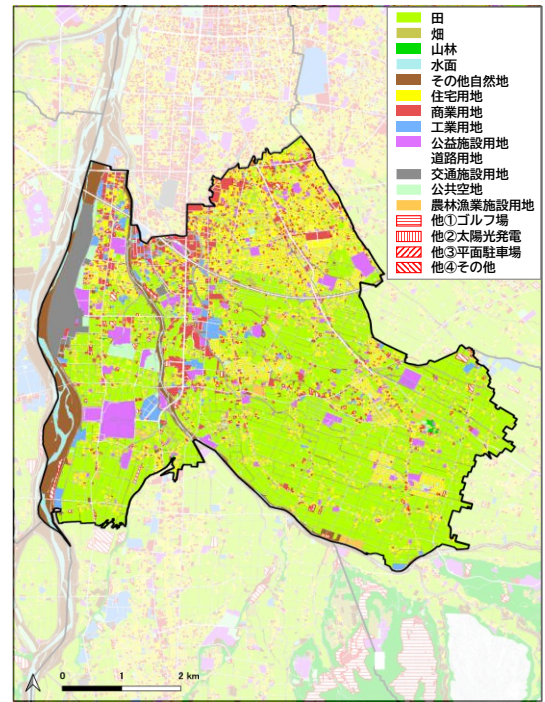
⑦生活行動

日常の買い物の約7割を自地域内で行っていますが、通勤・通学、通院、その他の買い物は2～3割程度となっています。

⑧地域のつながり

地形や環境、市民の生活行動から、大山地域と強いつながりがあります。

■土地利用現況と面積比率



出典：都市計画基礎調査（令和5年度）

<市民ワークショップでの提案>

<p>《地域の魅力》</p>	<p>◇集客施設が立地 （富山空港、富山県総合運動公園、能楽堂など）</p> <p>◇豊かな自然 （田園景観、立山連峰の眺望景観、熊野川の豊かな自然環境）</p> <p>◇住みやすさ （コミュニティのつながり、国道41号や高速道路などが充実しアクセスがよい、富山市民病院や健康増進施設が充実）</p>
<p>《20年後の地域の将来イメージ》</p>	<p>『自然とコミュニティが生きる全世代が元気に暮らせるまち』</p>

(2) まちづくりの目標

富山南部地域では、複数の公共交通が連絡し、多様な世代が行き来する結節性、商業施設などの集積、大規模な公園・スポーツ施設などを活かし、まちづくりを推進するため、次の目標を設定します。

i) 多様な世代が行き来する結節性を活かした副次都市拠点の形成

南富山駅周辺において、複数の公共交通が連絡し、通勤・通学で多様な世代が行き来する結節性や商業施設などの集積を活かし、商業や業務の活性化、多世代の交流、さらには周辺地域への玄関口としての機能などの充実を図ります。

ii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成

富山地方鉄道不二越・上滝線や幹線バス路線の活性化と連携して、沿線の諸機能を活かし、また、既成市街地の更新を促すことで、良好な居住環境を形成します。

iii) 大規模な公園や運動施設を核としたスポーツ・レクリエーションの場の形成

富山県総合運動公園などの多様な機能を持つ充実した公園や運動施設を核に、市民がスポーツやレクリエーションに親しめる場を形成します。

iv) 豊かな自然環境や農業・農村環境の保全

熊野川などの自然環境や田園が広がる農業・農村環境を保全します。

v) 広域物流や移動に優位な交通環境を活かした産業の保全や誘導

空港や富山ICなどとの結節性を活かし、産業の保全や誘導を図ります。

vi) 安全・安心なまちの形成

洪水などの災害リスクの回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を進めます。

(3) 主な取組・分野別の方針

①土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none"> ・副次都市拠点である南富山駅周辺のうち、駅前商店街及び（都）堀川線沿道は、地域商業地区とし、公共交通の活性化とあわせて、最寄り品小売業や金融機関、公共公益施設の充実を図ります。 ・（都）草島東線沿道は、沿道商業地区として位置付け、沿道商業機能の立地の適正化を図ります。
産業系	<ul style="list-style-type: none"> ・（都）県庁線（国道41号）沿道のとやまオムニパークは、交通利便性を活かした工業地区とし、異業種交流のモデル団地を形成します。 ・富山IC・富山空港周辺地区は、工業地区、流通業務地区とし、製造業や運輸業などの集積を図ります。
住宅系	<ul style="list-style-type: none"> ・南富山駅周辺では、商業施設や公共公益施設などと調和した住宅地を形成します。 ・（都）県庁線（国道41号）以東の市街地や珠泉、月岡などの住宅団地は、戸建住宅を主体とした住宅専用地区とし、周辺の田園環境と調和するゆとりある良好な住環境を形成します。 ・富山地方鉄道不二越・上滝線の沿線は、一定規模の商業機能が立地可能な住居地区とし、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地を形成します。 ・富山IC周辺や富山空港の周辺は、複合用途地区とし、流通業務と居住が調和した住宅地を形成します。富山空港周辺は、住宅地を中心に一部流通機能を含む複合的な土地利用を誘導します。 ・公共交通が便利な圏域では、公共交通の活性化や生活関連機能の充実とあわせて、居住の推進を図ります。 ・空き地・空き家の適正な管理や有効活用などにより、安全・安心な住環境の形成に努めます。
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none"> ・農地は、農業保全地域とし、虫食いの農地転用を抑制して、良好な農業・農村環境を保全するとともに、農業体験など、交流の場としての活用を検討します。 ・集落地域では、既存コミュニティを活かし、良好な生活環境の形成に努めます。

②交通体系の方針

公共交通

- ・富山地方鉄道不二越・上滝線の利便性向上と持続性の確保を図るため、ダイヤの改善、老朽化した施設・設備の更新や改良などを進めます。
- ・公共交通軸であるバス路線は、快適性の向上など機能強化を推進するとともに、生活の足を確保するため、生活バス路線の維持や地域自主運行バスの機能確保などに努めます。
- ・南富山駅周辺では、駅前広場や駅関連施設の整備による乗継利便性の向上などにより、利用環境の改善や利用圏域の拡大を推進します。

道路

- ・高規格道路である富山外郭環状道路の整備構想検討や（都）富山南道路（富山高山連絡道路）の整備を促進します。
- ・都心地区と拠点とをつなぐ（都）大泉線・（都）西荒屋黒崎線などの整備を推進します。
- ・八幡橋の更新や開発陸橋・新保大橋の大規模修繕など、橋梁をはじめとした道路構造物の適正な維持管理・更新を推進します。

③その他の都市施設・機能の方針

公園・緑地、レクリエーション

- ・みどりの核及びスポーツ活動を主体としたレクリエーションの場として、富山南総合公園を整備します。

河川・水路、上水道、下水道

- ・冷川、太田川では、治水機能の向上を図ります。
- ・神通川左岸では、堤防の強化を図るため、急流河川対策事業を促進します。
- ・避難所などに接続する上下水道施設の耐震化を推進します。
- ・大泉汚水中継ポンプ場などにおいて、下水道施設の老朽化対策を推進します。
- ・土地利用に即した下水道整備のあり方の検討を推進します。
- ・市民が安全に生活できるよう本郷第一排水区において浸水対策を推進します。

④都市の質に関する方針

環境、景観、ユニバーサルデザイン

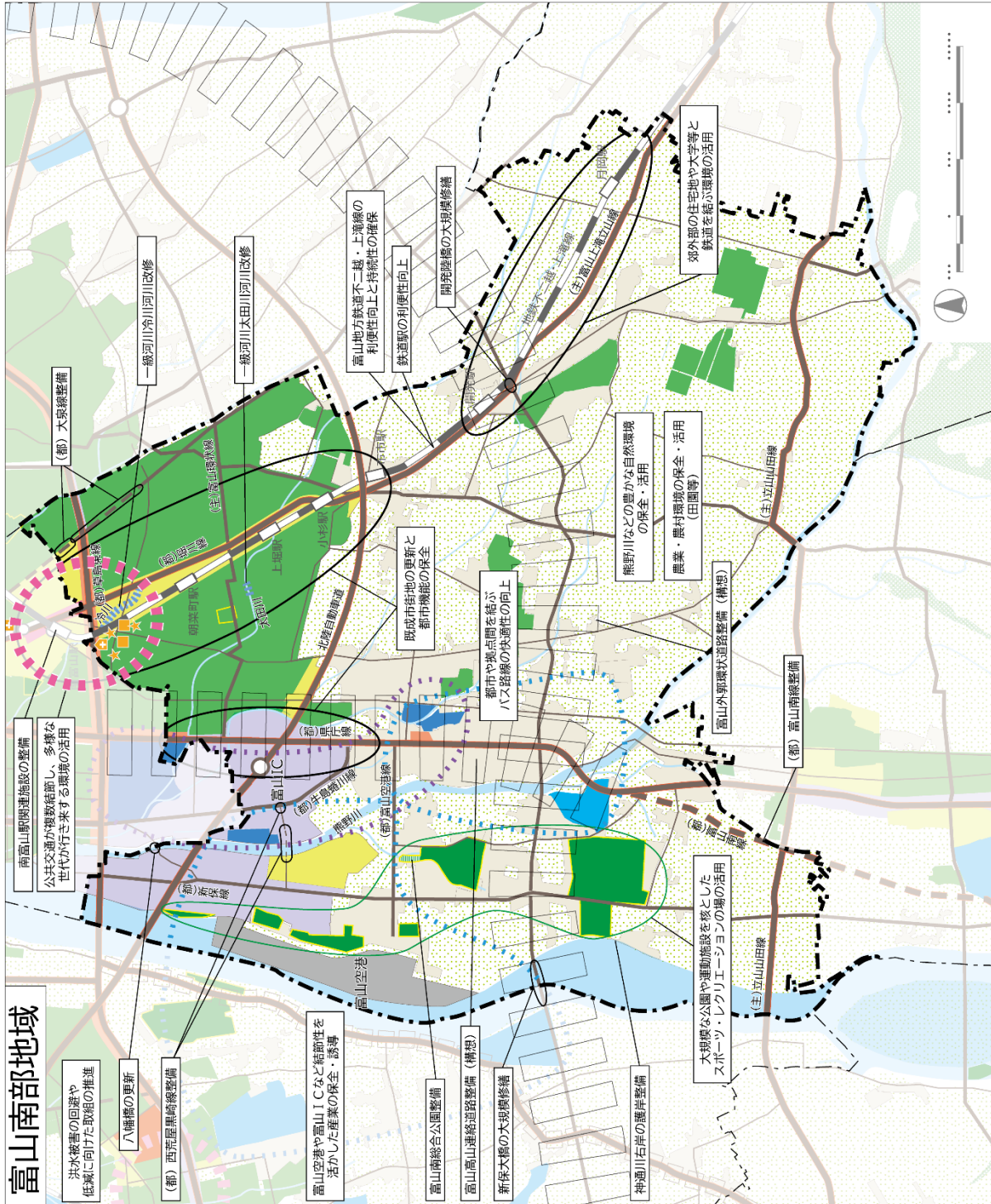
- ・公共交通が便利な圏域を中心に、誰もが徒歩や公共交通で移動しやすい生活環境の形成を目指し、公共交通機関・道路・施設間での移動の連続性の確保や公共施設などでのバリアフリー化を推進するとともに、環境に優しいライフスタイルへの転換を市民に促します。
- ・南富山駅周辺では、拠点の形成にあわせて、優良な都市景観の形成を推進します。

防災・防犯

- ・洪水や雨水出水の危険性の高い箇所では、そのリスクに応じて、居住誘導や新市街地の整備の抑制、災害リスク情報の周知・啓発など、被害を回避・軽減するための取組を進めます。
- ・居住環境の維持・向上を図るため、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

■まちづくり方針図

凡 例	土地利用	交通	公園	工業	拠点	境界	河川改修	拠点の主な施設
凡 例	広域商業地区 地域商業地区 沿道商業地区 工業地区 流通業務地区 住宅専用地区 住居地区 複合用途地区 商業保全地域 集落地域	水面 鉄道 広域幹線道路、主要幹線道路 (今後整備 ※事業中含む) (構想:広域幹線道路) 幹線道路 (今後整備 ※事業中含む) 地区幹線道路 (構想:広域幹線道路) 空港	都市公園 (今後整備 ※事業中含む)	工業地区(誘導・保全) 流通業務地区	地域生活拠点(副次都市拠点) 地域区分	河川改修	商業(スーパーマーケット、生鮮食品 店舗のラックストア) 金融機能(銀行、郵便局、JAなど) 医療機能(内科)	



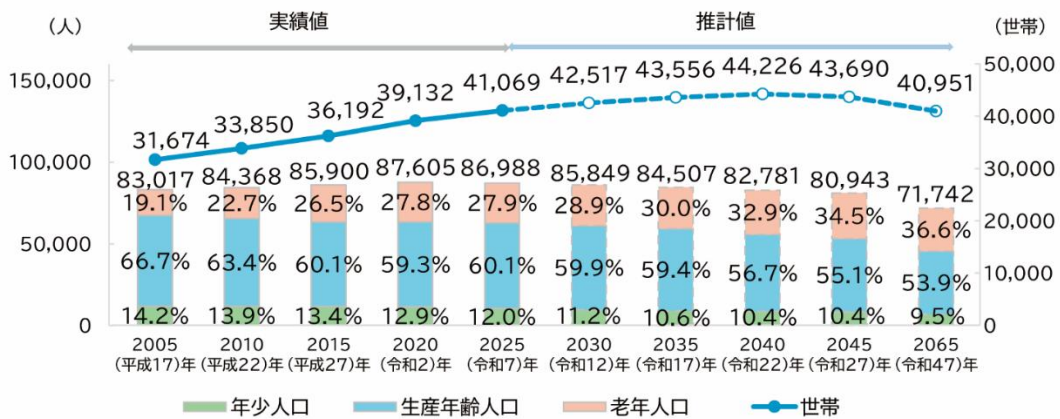
7 富山東部地域

(1) 地域の現状

①人口・世帯数

人口は減少に転換しつつあり、2025（令和7）年の人口は86,988人、高齢化率は約28%です。今後、世帯数は2040（令和22）年をピークに減少に転じ、高齢化率は3割を超える見込みです。

■人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し



出典：国勢調査及び富山市将来人口推計報告書（令和7年2月）の各種設定値を活用して、住民基本台帳データを基に250mメッシュ単位で集計処理し、各地域で按分して算出

②歴史・文化

地域内には、国の重要文化財である浮田家住宅と国の登録有形文化財である金岡邸の文化財建造物が立地するほか、世界かんがい遺産に登録されている常西合口用水が還流し、歴史文化の拠点となっています。

また、西番周辺には、地震、水害などの自然災害を伝承する大転石などの歴史的資源が点在し、災害の教訓を学ぶことができます。

③自然・レクリエーション・景観

城東ふれあい公園をはじめ、緑や自然が身近にあり、南部を中心に豊かな田園と散居村的な風景が広がっています。

また、常願寺川をはじめ、いたち川や常西用水などの水資源があり、豊かな水の恵みを感じることができます。さらに、市街地からでも立山連峰を眺望することができます。

④公共交通

富山地方鉄道本線及び不二越・上滝線の各駅が立地し、藤ノ木方面など複数のバス路線があります。

⑤土地利用

地域生活拠点である富山地方鉄道不二越・上滝線の沿線や国道41号、(都)草島東線などの幹線道路の沿線を中心に、住宅と商業用地、工業用地が混在した市街地が広がっています。また、富山地方鉄道本線の沿線や南部の市街地に小規模な低未利用地が多く存在しています。

住宅や商業で地域の3割以上を占め、14地域中2番目に都市的土地利用が進んでいる地域です。

⑥災害リスク

常願寺川に隣接している住宅地であり、広く洪水の影響を受けます。また、近年は雨水出水の被害も発生しています。

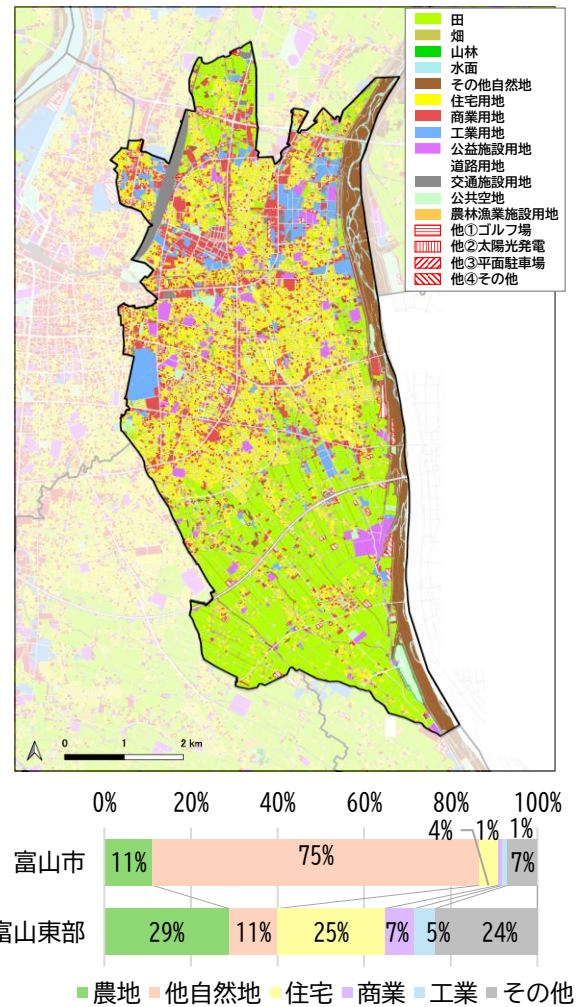
⑦生活行動

日常の買い物や通院の約7~8割、その他の買い物では約5割が自地域内で行われていますが、通勤・通学や文化・スポーツでは、3割程度となっています。

⑧地域のつながり

地形や環境、市民の生活行動から、富山中央地域と強いつながりがあります。

■土地利用現況と面積比率



<市民ワークショップでの提案>

《地域の魅力》	<ul style="list-style-type: none"> ◇歴史文化・観光・自然資源 (新庄赤門レンガ、金岡邸、浮田家、常西合口用水などの水資源、立山連峰の眺望、西番奉納相撲) ◇教育施設集積、活力ある街 (保育園から大学までが立地・城東ふれあい公園などの多機能な公園が充実) ◇交通利便性が高い (幹線道路や公共交通が充実)
《20年後の地域の将来イメージ》	<ul style="list-style-type: none"> 『地域資源から始まるまちのコミュニケーション』 『歴史文化・教育・自然を活かした「次世代・交流・共存・共生のまち」』

(2) まちづくりの目標

富山東部地域では、複数の路線が結節する公共交通の利便性、総合病院や大型商業施設などの多様な都市機能の集積、大規模な公園・スポーツ施設などを活かし、まちづくりを推進するため、次の目標を設定します。

i) 公共交通の結節と生活を潤す多様な都市機能を活かした副次都市拠点の形成

稲荷町駅周辺から不二越町駅周辺において、複数の路線が連絡する公共交通の利便性と、総合病院や大型商業施設、大規模な公園・温浴施設などの多様な都市機能の集積を活かし、商業や業務の活性化、多様な世代の交流機能などの充実を図ります。

ii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成

あいの風とやま鉄道線や富山地方鉄道本線及び不二越・上滝線、幹線バス路線の活性化と連携して、沿線の諸機能を活かし、また、既成市街地の更新を促すことで、良好な居住環境を形成します。

iii) 大規模な公園やスポーツ施設を核としたレクリエーションの場の形成

稲荷公園や市民プールなどの施設を核に、市民がレクリエーションに親しめる場を形成します。

iv) 広域物流に優位な交通環境を活かした産業の保全や誘導

国道8号などの幹線道路や流杉PAスマートICへの結節性を活かし、産業の保全や誘導を図ります。

v) 田園が広がる農業・農村環境の保全

田園が広がる農業・農村環境の保全を推進します。

vi) 安全・安心なまちの形成

洪水などの災害リスクの回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を推進します。

(3) 分野別の方針

①土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none">・副次都市拠点である不二越駅周辺から稲荷町駅周辺に至る市街地は、地域商業地区とし、公共交通の活性化や歩行者空間の整備とあわせて、最寄り品小売業や金融機関、公共公益施設の充実を図ります。
産業系	<ul style="list-style-type: none">・不二越周辺や新庄地区、荒川地区など、市街地内の既存工業地は、工業地区とし、大規模工場や機械工業などの産業集積を図ります。・国道8号と国道41号の結節点に位置する富山問屋センターは、流通業務地区とし、流通業務に関連した店舗や事業所などの誘導を図ります。・流杉PAスマートIC周辺での産業立地を検討します。・国道8号の沿線は工業地区とし、産業の集積を図ります。
住宅系	<ul style="list-style-type: none">・富山地方鉄道本線以南の市街地は、戸建住宅を主体とした住宅専用地区とし、良好な住環境を形成します。・富山地方鉄道の本線や不二越・上滝線の沿線は、一定規模の商業機能が立地可能な住居地区とし、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地を形成します。・工業地区や流通業務地区周辺の市街地は、複合用途地区とし、工業、流通業務、商業、居住が調和した住宅地を形成します。・公共交通が便利な圏域では、公共交通の活性化や生活関連機能の充実とあわせて、居住の誘導を図ります。・空き地・空き家の適正な管理や有効活用などにより、安全・安心な住環境の形成に努めます。
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none">・農地は、農業保全地域とし、虫食いの農地転用を抑制して、良好な農業・農村環境を保全するとともに、農業体験など、交流の場としての活用を検討します。・集落地域では、既存コミュニティを活かし、良好な生活環境の形成に努めます。

②交通体系の方針

公共交通

- ・あいの風とやま鉄道線、富山地方鉄道本線、不二越・上滝線の利便性向上と持続性の確保を図るため、ダイヤの改善、老朽化した施設・設備の更新や改良などを進めます。
- ・公共交通軸であるバス路線は、快適性の向上など機能強化を図るとともに、生活の足を確保するため、生活バス路線などの維持や機能確保に努めます。
- ・稲荷町駅周辺などでは、駅関連施設の整備などにより、利用環境の改善や利用圏域の拡大を推進します。
- ・新富山口駅周辺では、駅周辺の交通環境や利用状況などを踏まえ、駐車場の充実など利用環境の改善や利用圏域の拡大に努めます。

道路

- ・高規格道路である富山外郭環状道路の整備構想検討や国道8号豊田新屋立体の整備を促進します。
- ・都心地区や拠点とをつなぐ（都）下赤江新庄線・（都）経堂中間島線などの整備を推進します。
- ・合口橋の更新など、橋梁をはじめとした道路構造物の適正な維持管理・更新を推進します。

③その他の都市施設や機能の方針

公園・緑地、レクリエーション

- ・地区公園である山室二区公園及び近隣公園である天正寺公園を整備します。
- ・常願寺川沿いは、河川と一体となった緑地を形成するとともに、河川敷に広がる朝日運動広場や大日運動広場での便利施設の充実により、スポーツ・レクリエーションの場の形成を図ります。

河川・水路、上水道、下水道

- ・宮路川や中川では、治水機能の向上を図ります。
- ・常願寺川左岸では、堤防の強化を図るため、堤防整備事業などを進めます。
- ・避難所などに接続する上下水道施設の耐震化を推進します。
- ・新庄東部第2汚水中継ポンプ所などにおいて、下水道施設の老朽化対策を推進します。
- ・土地利用に即した下水道整備のあり方を検討します。
- ・市民が安全に生活できるよう向新庄第二排水区において浸水対策を推進します。

④都市の質に関する方針

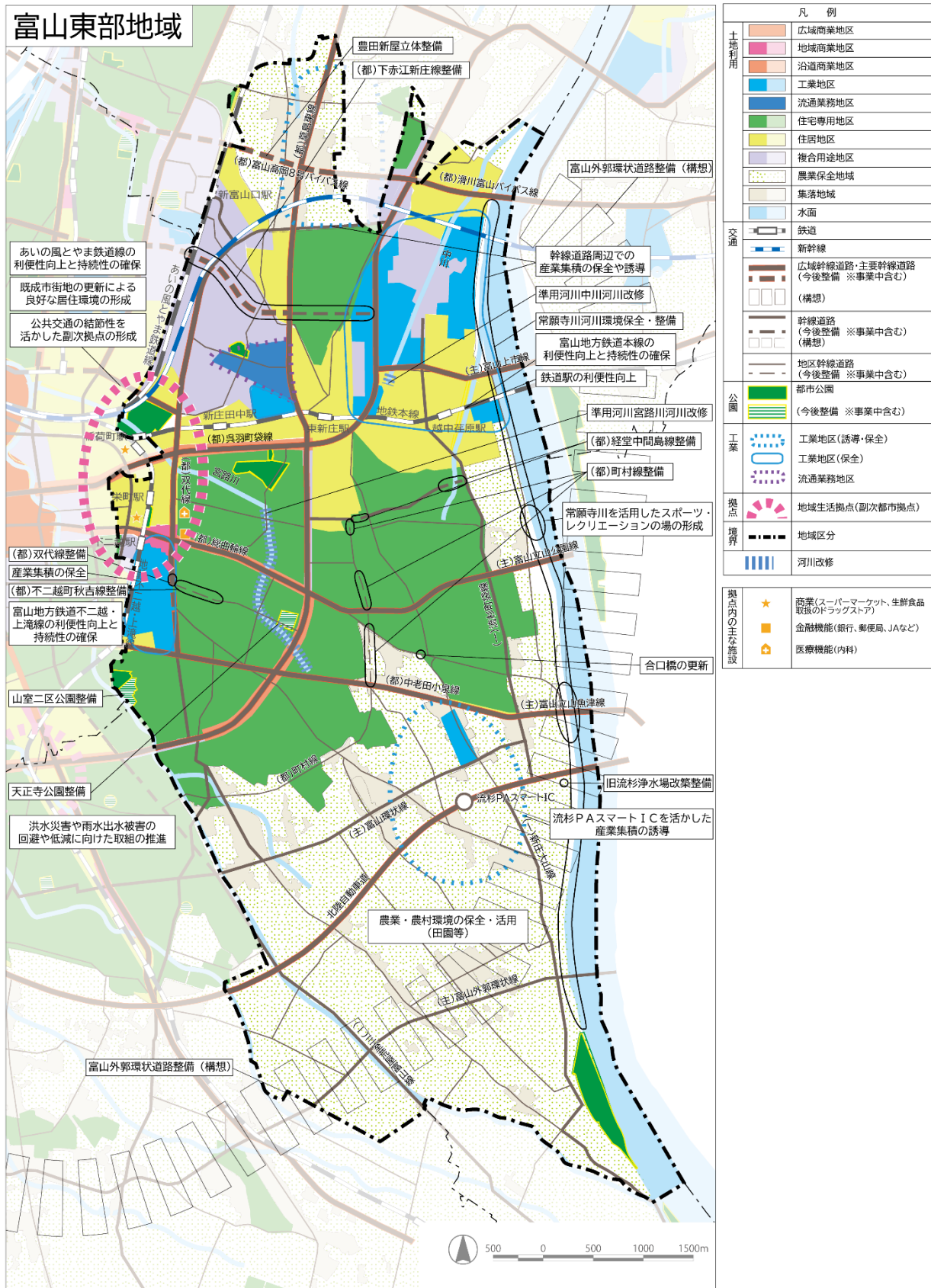
環境、景観、ユニバーサルデザイン

- ・公共交通が便利な圏域を中心に、誰もが徒歩や公共交通で移動しやすい生活環境の形成を目指し、公共交通機関・道路・施設間での移動の連続性の確保や公共施設などでのバリアフリー化を推進するとともに、環境に優しいライフスタイルへの転換を市民に促します。

防災・防犯

- ・洪水災害や雨水出水など危険性の高い箇所では、そのリスクに応じて、居住誘導や新市街地の整備の抑制、災害リスク情報の周知・啓発など、被害を回避・軽減するための取組を進めます。
- ・居住環境の維持・向上を図るため、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

■まちづくり方針図



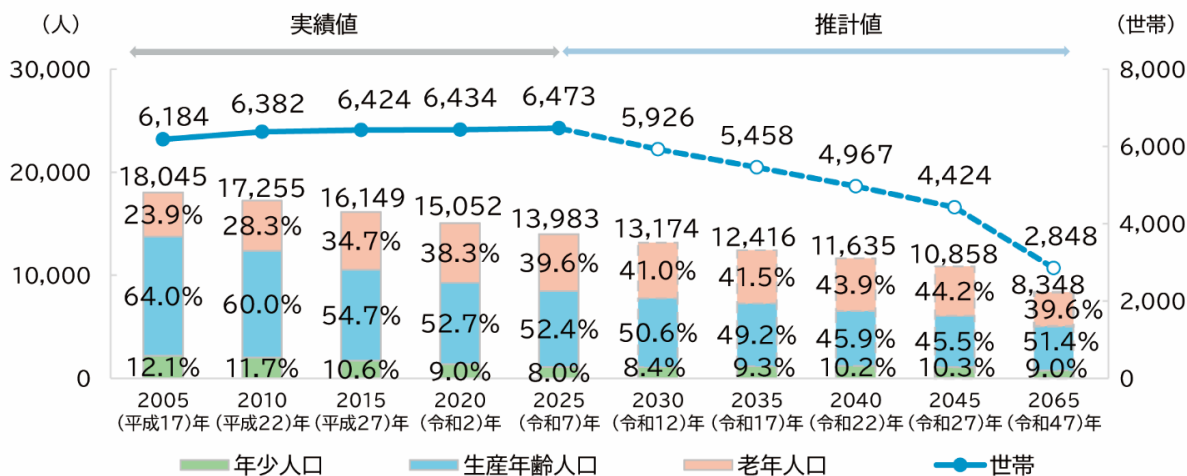
8 水橋地域

(1) 地域の現状

①人口・世帯数

人口と世帯数は既に減少傾向にあり、2025（令和7）年時点で 13,983 人、高齢化率は 39%と他地域に比べ高くなっています。今後、さらなる人口減少により、高齢化率は4割を超える見込みです。

■人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し



出典：国勢調査及び富山市将来人口推計報告書（令和7年2月）の各種設定値を活用して、住民基本台帳データを基に250mメッシュ単位で集計処理し、各地域で按分して算出

②歴史・文化

沿岸部では、水橋漁港を中心に、神社や歴史的建造物などが立地する港町の街並みが形成されています。また、新鮮な海産物を提供する食堂が漁港に隣接し、水産加工品に関する観光施設も立地しています。さらに、地域固有の祭りも行われています。

③自然・レクリエーション・景観

海洋レクリエーションの拠点である水橋フィッシャリーナが整備され、親水防波堤での釣りや散歩を楽しむことができ、豊富な地下水を活用した温泉施設も集積しています。

また、地域内には、富山湾、常願寺川、豊かな田園があり、立山連峰を一望することができ、農地の大区画化、スマート農業の導入による農作業の効率化や新規就農の確保などにより、豊かな田園風景を守る農業振興に向けた取組が進められています。

④公共交通

あいの風とやま鉄道線の水橋駅や富山地方鉄道本線の越中三郷駅が立地し、バス路線や水橋コミュニティバスがあります。

⑤土地利用

地域生活拠点である水橋駅周辺を中心に、義務教育学校である水橋学園が立地し、住宅と商業用地が混在した市街地が広がり、国道8号沿線や常願寺川沿いには、企業団地が整備され、工業用地が広がっています。

また、畑や水田などの農地が地域の5割を占めており、市平均より割合が高くなっています。

⑥災害リスク

富山湾、常願寺川、白岩川などに隣接し、木造住宅の密集地などもあることから、豪雨時の洪水の影響や地震時に短時間で到達する津波などの懸念があります。

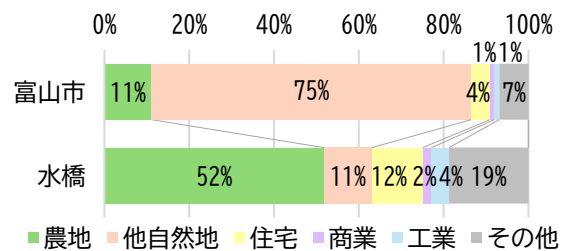
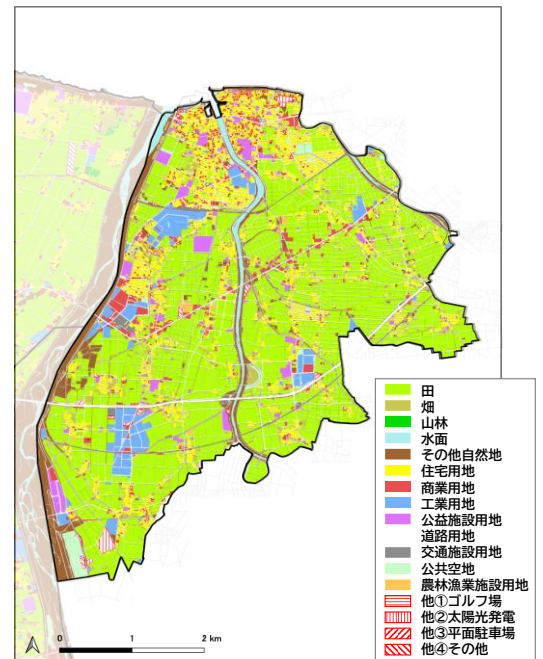
⑦生活行動

日常の買い物の約6割が自地域内で行われていますが、通勤・通学や通院は2～3割程度となっています。

⑧地域のつながり

地形や環境、市民の生活行動から、沿岸部の和合地域や富山北部地域と強いつながりがあります。

■土地利用現況と面積比率



出典：都市計画基礎調査（令和5年度）

<市民ワークショップでの提案>

<p>《地域の魅力》</p>	<p>◇豊かな自然 （海・山・川の資源や風景、立山連峰などの眺望、水橋漁港や温浴施設などの固有の施設）</p> <p>◇住みやすさ・暮らしやすさがある （複数の公共交通、水橋会館などの施設の充実、祭りなどを通じた地域のつながり、水橋学園の完成、農業漁業から工業団地まで働く場の充実）</p>
<p>《20年後の地域の将来イメージ》</p>	<p>『LOVE・元気・かけはし水橋』</p> <p>『みずみどりが映える、笑顔があふれる、変化を恐れない楽しむ、よかったね水橋』</p>

(2) まちづくりの目標

水橋地域では、海や川の豊かな自然環境やレクリエーションの場、産業の集積などを活かし、まちづくりを推進するため、次の目標を設定します。

i) 豊かな自然環境やレクリエーションの場を活用した地域拠点の形成

水橋駅周辺において、生活機能などを維持するとともに、水橋漁港や白岩川周辺の水辺空間、新たな公園などの自然環境やレクリエーションの場を活かし、市民や来街者の都市活動を生み出す地域拠点を形成します。

ii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成

あいの風とやま鉄道線や富山地方鉄道本線の活性化と連携して、沿線の諸機能を活かし、また、既成市街地の更新を促すことで、良好な居住環境を形成します。

iii) 拠点などを結ぶ公共交通や主要な道路の適正な保全や整備

水橋駅周辺の市街地や既存集落（宅地）などを結ぶ公共交通や主要な道路を適正に整備・保全し、周辺地域との円滑な移動環境を形成します。

iv) 海岸などの自然環境や田園が広がる農業・農村環境の保全

海岸などの豊かな自然環境や田園が広がる農業・農村環境の保全を推進します。

v) 国道8号との結節性を活かした産業集積の保全や誘導

国道8号との結節性を活かし、産業集積の保全や誘導を図ります。

vi) 安全・安心なまちの形成

津波などの災害リスクの回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を推進します。

(3) 分野別の方針

①土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none"> ・水橋駅周辺から旧市街地にかけて地域生活拠点では、水橋中部地区センター周辺を地域商業地区として位置付け、風情ある街並みを活かしながら、既存の商店街などを中心に、最寄り品小売業や金融機関、公共公益施設の充実を図ります。
産業系	<ul style="list-style-type: none"> ・常願寺川沿いや（都）滑川富山8号バイパス線沿道の工業団地は、工業地区として位置付け、医薬品や水産加工物、機械工業などの産業集積を図ります。
住宅系	<ul style="list-style-type: none"> ・水橋駅周辺の住宅地では、身近な生活サービスや公益施設などと調和した住宅地を形成します。 ・地域商業地区周辺の市街地は、戸建住宅を主体とした住宅専用地区とし、良好な住環境を形成します。 ・水橋駅の北側の市街地は、一定規模の商業機能が立地可能な住居地区とし、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地を形成します。また、北側と南側を工業地区にはさまれた水橋中村付近の市街地は、一定規模の商業や生産を支えるサービス業が立地可能な住居地区とします。 ・工業地区周辺などは、複合用途地区とし、工業、居住が調和した住宅地を形成します。 ・公共交通が便利な圏域では、公共交通の活性化や生活関連機能の充実とあわせて、居住の推進を図ります。 ・空き地・空き家の適正な管理や有効活用などにより、安全・安心な住環境の形成に努めます。
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none"> ・農地は、農業保全地域とし、虫食いの農地転用を抑制して、良好な農業・農村環境を保全するとともに、農業体験など、交流の場としての活用を検討します。 ・集落地域では、既存コミュニティを活かし、良好な生活環境の形成に努めます。

②交通体系の方針

公共交通

- ・あいの風とやま鉄道線及び富山地方鉄道本線の利便性向上と持続性の確保を図るため、ダイヤの改善、老朽化した施設・設備の更新や改良などを進めます。
- ・公共交通軸であるバス路線やフィーダーバスは、快適性の向上など機能強化を推進するとともに、生活の足を確保するため、生活バス路線などの維持や水橋コミュニティバスの機能確保に努めます。
- ・水橋駅周辺では、新たな市街地開発による歩行空間の整備などにより、利用環境の改善や利用圏域の拡大に努めます。

道路

- ・高規格道路である富山外郭環状道路の整備構想検討を促進します。
- ・都心地区と拠点とをつなぐ（都）大正町池田町線・（都）大正町館町線などの整備を推進します。
- ・白岩川の河川改修にあわせた（都）駅前出町線の水橋大橋の更新を促進します。
- ・陸橋の更新など、橋梁をはじめとした道路構造物の適正な維持管理・更新を推進します。

③その他の都市施設・機能の方針

公園・緑地、レクリエーション

- ・水橋駅周辺のみどりの核としての水橋西公園を整備します。
- ・白岩川の河口部では、水辺とのふれあいなど親水機能の向上を図ります。
- ・常願寺川沿いでは、常願寺川緑地を核としてスポーツ活動を主体としたレクリエーションの場の形成を図ります。

河川・水路、上水道、下水道

- ・白岩川では、治水機能の向上と河川環境を整備します。
- ・下条川の治水機能の向上を図るため、上市川への放水路を整備します。
- ・常願寺川右岸では、堤防の強化を図るため、浸透対策事業を進めます。
- ・避難所などに接続する上下水道施設の耐震化を推進します。
- ・水橋浄化センターなどにおいて、下水道施設の老朽化対策を推進します。
- ・土地利用に即した下水道整備のあり方を検討します。

④都市の質に関する方針

環境、景観、ユニバーサルデザイン

- ・公共交通が便利な圏域を中心に、誰もが徒歩や公共交通で移動しやすい生活環境の形成を目指し、公共交通機関・道路・施設間での移動の連続性の確保や公共施設などでのバリアフリー化を推進するとともに、環境に優しいライフスタイルへの転換を市民に促します。

防災・防犯

- ・家屋が密集した市街地では、風情ある街並み景観の形成に配慮しつつ、不燃化建物への建て替え誘導など、火災に強いまちづくりに努めます。
- ・洪水や雨水出水、地震時の津波・高潮など危険性の高い箇所では、そのリスクに応じて、居住誘導や新市街地の整備の抑制、災害リスク情報の周知・啓発など、被害を回避・軽減するための取組を進めます。
- ・居住環境の維持・向上を図るため、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

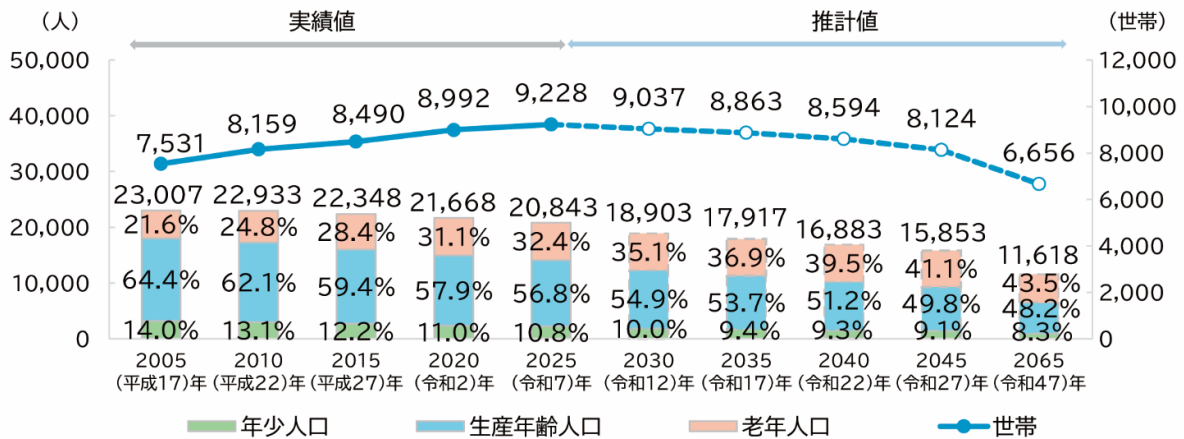
9 大沢野地域

(1) 地域の現況

①人口・世帯数

人口は減少しており、2025（令和7）年の人口は20,843人、高齢化率が32%と3割を超えています。今後、世帯数は減少に転じ、高齢化率は4割まで高まる見込みです。

■人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し



出典：国勢調査及び富山市将来人口推計報告書（令和7年2月）の各種設定値を活用して、住民基本台帳データを基に250mメッシュ単位で集計処理し、各地域で按分して算出

②歴史・文化

地域内には、国指定史跡の直坂遺跡や国登録有形文化財の笹津橋などがあり、歴史的資源を身近に感じることができます。また、船舥用水は、歴史の体験学習ができる貴重な文化資源となっています。

さらに、古くから伝わる祭りが地域の伝統文化として保存されています。

③自然・レクリエーション・景観

豊かな田園地帯を活かした農の恵みや特産品があり、地産地消を促進する産地直売所が立地しています。神通川沿いでは、豊かな自然を活かした温泉施設やアウトドア施設が整備され、様々な野外アクティビティを体験できます。

また、猿倉山森林公園からの眺望・寺家公園の桜や紅葉、神通川さくら堤などでは、豊かな自然景観に出会うことができます。

④公共交通

JR高山本線の笹津駅が立地し、都心地区へ向かう国道41号のバスなど、複数のバス路線やシルバータクシーがあります。

⑤土地利用

地域生活拠点である笹津駅周辺から国道41号の沿線を中心に、住宅と商業用地が混在した市街地が広がり、市街地の周辺には、企業団地が整備され、工業用地が集積しています。また、市街化区域のほか、集落地域にも低未利用地が存在しています。

畑や水田などの農地が地域の2割を占めており、市平均と比較すると割合が高くなっています。

⑥災害リスク

河岸段丘上に位置した住宅地であり、豪雨による洪水などの影響を受けにくいですが、局所的に土砂災害などの懸念があります。

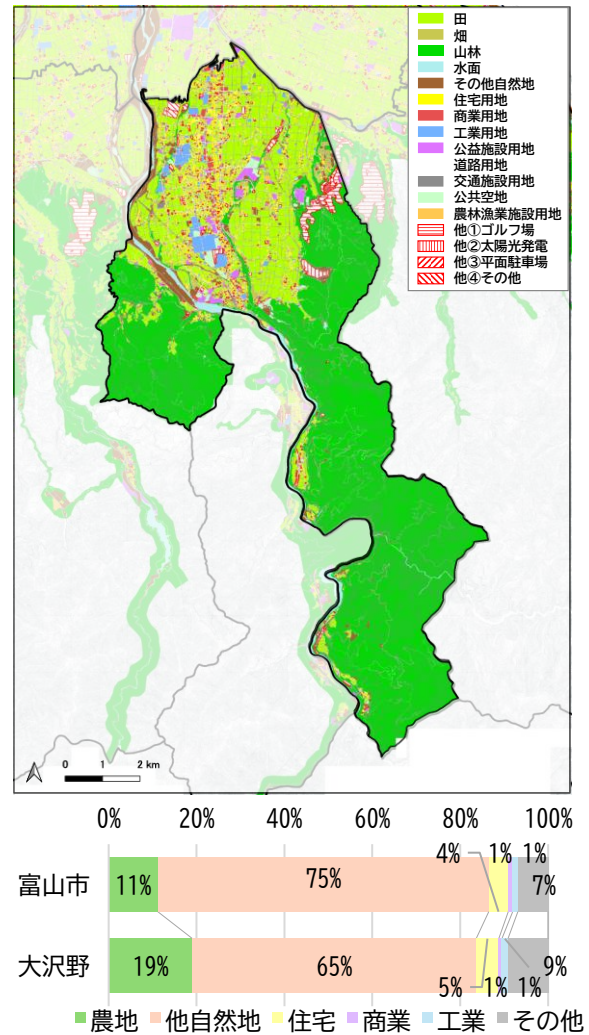
⑦生活行動

日常の買い物の約9割、通院の半数程度が自地域内で行われていますが、通勤・通学やその他買い物、文化・スポーツは2～3割程度となっています。

⑧地域のつながり

地形や環境、市民の生活行動から細入地域と強いつながりがあります。

■土地利用現況と面積比率



出典：都市計画基礎調査（令和5年度）

<市民ワークショップでの提案>

《地域の魅力》	<ul style="list-style-type: none"> ◇伝統文化（伝統芸能、高砂山願念坊祭りなどの祭事、山車、直坂遺跡や船峠用水などの文化資源） ◇地域への愛着（地域のつながり、祭事などを通じた活発なコミュニティ、温浴施設などで高齢者がいきいきと暮らせる環境） ◇自然資源（猿倉山などの眺望や景観、寺家公園の桜や紅葉、神通峡や春日温泉郷、地場産直売所）
《20年後の地域の将来イメージ》	『自然豊かで先祖を大切にすうん“米”まち』

(2) まちづくりの目標

大沢野地域では、商業施設や文化施設などの集積、神通川周辺の温浴・スポーツ施設や景勝地などを活かし、まちづくりを推進するため、次の目標を設定します。

i) 生活に必要な機能が充実した国道41号沿線などでの生活拠点の形成

笹津駅周辺や国道41号沿線において、公共交通の利便性と商業施設や文化施設などが集積する環境を活かし、生活サービスや文化・交流機能の維持・充実に努めます。

ii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成

JR高山本線や幹線バス路線の活性化と連携して、沿線の諸機能を活かし、また、既成市街地の更新を促すことで、良好な居住環境を形成します。

iii) 神通川周辺の資源を活かした自然・レクリエーションの場の形成

神通川周辺の温浴・スポーツ施設、景勝地などを活かし、市民や来街者が自然・レクリエーションに親しめる場を形成します。

iv) 豊かな自然環境や農業・農村環境の保全

平地の水田や中山間地域での棚田などの農業・農村環境、森林・水源などの自然環境を保全します。

v) 広域物流に優位な交通環境を活かした産業の保全や誘導

国道41号や富山ICとの結節性を活かし、産業の保全や誘導を図ります。

vi) 安全・安心なまちの形成

土砂災害などのリスク回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を推進します。

(3) 分野別の方針

①土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none">生活拠点である笹津駅周辺と大沢野行政サービスセンター周辺は、地域商業地区とします。笹津駅周辺の駅前商店街を中心とする地区では、公共交通の活性化とあわせて、最寄り品小売業などの身近な生活サービス施設の集積を促進します。大沢野行政サービスセンター周辺では、公共公益施設の充実を図ります。
産業系	<ul style="list-style-type: none">中大久保地区や高内地区などの既存工業地は、国道 41 号へのアクセス性を活かした工業地区とし、医薬品や電子部品、航空機部品などのものづくり産業の育成を図ります。
住宅系	<ul style="list-style-type: none">生活拠点である国道 41 号沿道の住宅地では、身近な生活サービスや公益施設などと調和した住宅地を形成します。(都) 中央幹線 (国道 41 号) 背後の市街地は、戸建住宅を中心とした住宅専用地区とし、良好な住環境を形成します。地域商業地区や工業地区周辺などの住宅地は、一定規模の商業機能が立地可能な住居地区とし、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地を形成します。(都) 中央幹線 (国道 41 号) 沿道や工業地区周辺は、複合用途地区とし、沿道施設やサービス機能などと調和した住宅地を形成します。公共交通が便利な圏域では、公共交通の活性化や生活関連機能の充実とあわせて、居住の推進を図ります。空き地・空き家の適正な管理や有効活用などにより、安全・安心な住環境の形成に努めます。
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none">平野部の農地は、農業保全地域とし、虫食いの農地転用を抑制して、良好な農業・農村環境を保全するとともに、農業体験など、交流の場としての活用を検討します。山間部に近い農地は、優先的に維持する農地と粗放的な管理を行う農地を明確化するなどにより、農業者が減少する中でも、良好な農業・農村環境を維持します。集落地域では、既存コミュニティを活かし、良好な生活環境の形成に努めます。地域の南部に広がる森林は、森林環境保全地域とし、豊かな自然環境や景観の保全を図るとともに、森林を活かしたレクリエーションの場の形成に努めます。

②交通体系の方針

公共交通

- J R 高山本線の利便性向上と持続性の確保を図るため、ダイヤの改善、老朽化した施設・設備の更新や改良などを進めます。
- 公共交通軸である国道 41 号のバス路線は、快適性の向上など機能強化を図るとともに、生活の足を確保するため、生活バス路線などの維持や機能確保に努めます。
- 国道 41 号のバス停周辺では、駐輪場の整備などにより、利用環境の改善や利用圏域の拡大を図ります。

道路

- ・高規格道路の富山高山連絡道路である（都）富山南線・猪谷楡原道路の整備を促進します。
- ・市街地の骨格を形成する（都）西幹線・（都）長附加納線・（都）高内稲代幹線などの整備を進めます。
- ・観光橋や神峽橋の大規模修繕など、橋梁をはじめとした道路構造物の適正な維持管理・更新を推進します。

③その他の都市機能・施設の方針

公園・緑地、レクリエーション

- ・笹津駅周辺は市民や来街者が、春日温泉や猿倉山、国登録有形文化財に指定された笹津橋、神通峽などの資源にアクセスできる環境を形成します。

河川・水路、上水道、下水道

- ・神通川右岸では、堤防の強化を図るため、急流河川対策事業を進めます。
- ・避難所などに接続する上下水道施設の耐震化を推進します。
- ・大沢野浄化センターなどにおいて、下水道施設の老朽化対策を推進します。
- ・土地利用に即した下水道整備のあり方を検討します。
- ・市民が安全に生活できるよう大沢野東排水区において浸水対策を推進します。
- ・上大久保浄水場及び旭ヶ丘配水池に接続する基幹管路の耐震化を推進します。

④都市の質に関する方針

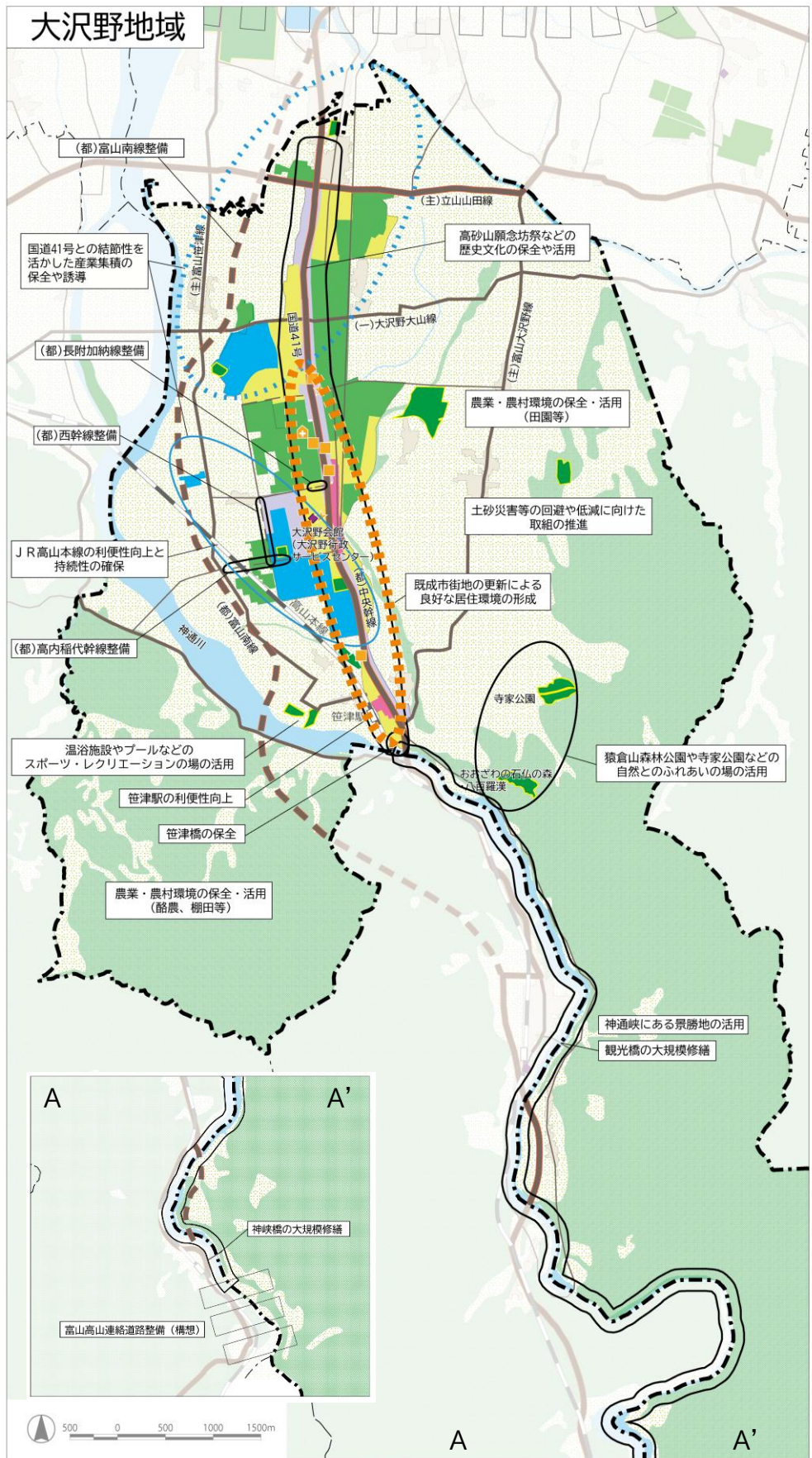
環境、景観、ユニバーサルデザイン

- ・公共交通が便利な圏域を中心に、誰もが徒歩や公共交通で移動しやすい生活環境の形成を目指し、公共交通機関・道路・施設間での移動の連続性の確保や公共施設などでのバリアフリー化を推進するとともに、環境に優しいライフスタイルへの転換を市民に促します。
- ・神通峽などでは、森林の適切な保全を通じて、特色ある自然景観の保全を図ります。

防災・防犯

- ・山間部周辺の土砂災害や洪水・雨水出水など危険性の高い箇所では、そのリスクに応じて、居住誘導や新市街地の整備の抑制、災害リスク情報の周知・啓発など、被害を回避・軽減するための取組を進めます。
- ・居住環境の維持・向上を図るため、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

■まちづくり方針図



凡 例	
土地利用	地域商業地区
	工業地区
	住宅専用地区
	住居地区
	複合用途地区
	農業保全地域
交通	集落地域
	森林環境保全地域
	水面
	鉄道
	広域幹線道路・主要幹線道路 (今後整備 ※事業中含む) (構想: 広域幹線道路)
	幹線道路 (今後整備 ※事業中含む) (構想)
公園	地区幹線道路 (今後整備 ※事業中含む)
	都市公園 (今後整備 ※事業中含む)
工業	工業地区(誘導・保全)
	工業地区(保全)
拠点	地域生活拠点(生活拠点)
境界	地域区分
拠点内の主な施設	<ul style="list-style-type: none"> 商業(スーパーマーケット、生鮮食品取扱のドラッグストア) 金融機能(銀行、郵便局、JAなど) 医療機能(内科)

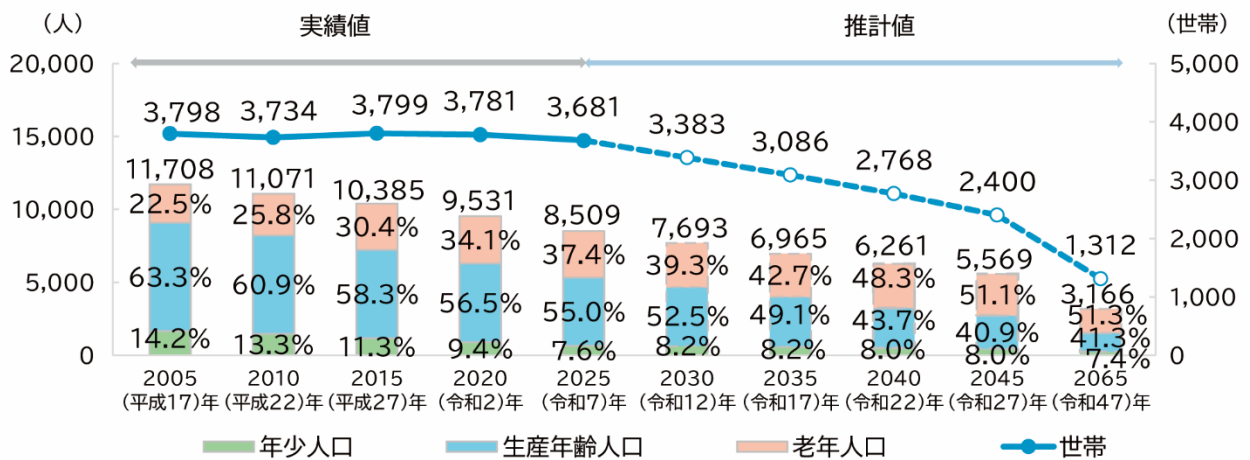
10 大山地域

(1) 地域の現況

①人口・世帯数

人口と世帯数は既に減少傾向にあります。2025（令和7）年時点で8,509人、高齢化率は37%と4割に近くなっています。今後、さらなる人口減少により、高齢化率は5割を超える見込みです。

■人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し



出典：国勢調査及び富山市将来人口推計報告書（令和7年2月）の各種設定値を活用して、住民基本台帳データを基に250mメッシュ単位で集計処理し、各地域で按分して算出

②歴史・文化

地域内には、県内初の世界かんがい施設遺産である常西合口用水や小水力発電所が多数あります。

また、国の重要文化財にも指定されている本宮砂防えん堤をはじめとした国土保全施設が豊富にあり、立山や常願寺川が作り出す貴重な文化遺産となっています。

③自然・レクリエーション・景観

平野部の常願寺川沿いや常西合口用水沿いには水辺空間・緑地が整備され、豊かな自然資源を楽しむことができます。

また、中山間地域では、観光と自然体験が一緒に楽しめるスキー場、キャンプ場やリゾート施設が立地し、様々な野外アクティビティを体験できます。

④公共交通

富山地方鉄道不二越・上滝線の大庄駅、上滝駅、大川寺駅、富山地方鉄道立山線の有峰口駅、本宮駅が立地し、市営コミュニティバスなどがあります。

⑤土地利用

地域内の大部分が自然的土地利用を占めており、住宅用地はごく一部となっています。また、低未利用地は、主に上滝駅周辺に存在しています。上滝駅周辺以北では、住宅と農地が混在した市街地が広がっています。

⑥災害リスク

扇状地の頂点部に位置する木造住宅の密集地であり、常願寺川からの洪水や崖地での土砂災害の影響、複合災害の影響が懸念されます。

⑦生活行動

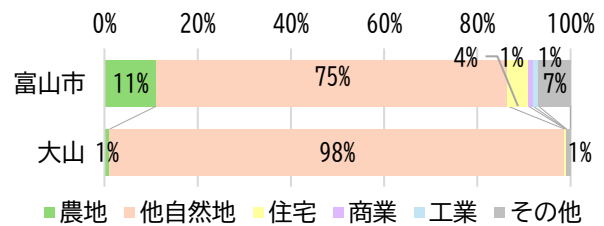
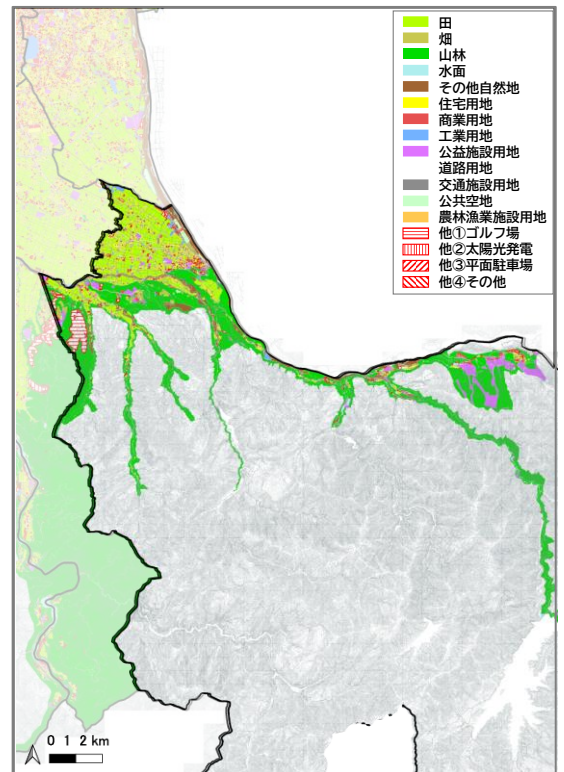
日常の買い物の8割以上、通院の7割以上が市内の他地域で行われています。

なお、富山南部地域が主な行き先となっています。

⑧地域のつながり

地形や環境、市民の生活行動から、富山南部地域と強いつながりがあります。

■土地利用現況と面積比率



出典：都市計画基礎調査（令和5年度）

<市民ワークショップでの提案>

《地域の魅力》	<ul style="list-style-type: none"> ◇公共交通網の充実（オンデマンド交通で駅などへアクセスが良い） ◇豊かな子育て環境（保育園や幼稚園から大学までそろっている） ◇地域でつながり交流できる環境（コミュニティが活発） ◇豊かな自然環境・観光・レクリエーション資源の充実・豊富な文化資源（常願寺川などで川遊び、キャンプ場やスキー場、常西合口用水や立山カルデラなど） ◇災害の少なさ
《20年後の地域の将来イメージ》	『大山区を始めよう！日本一幸せな“限界集落”』

(2) まちづくりの目標

大山地域では、常西合口用水の水辺空間や歴史・文化資源、山岳の自然やスキー場などの資源・施設などを活かし、まちづくりを推進するため、次の目標を設定します。

i) 豊かな水辺空間、歴史・文化資源を活用した地域拠点の形成

上滝駅周辺において、生活に必要な機能の立地や、常西合口用水などの水辺空間、歴史・文化資源を活用し、市民や来街者の都市活動の創出を図ります。

ii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成

富山地方鉄道不二越・上滝線の活性化と連携して、沿線の諸機能を活かし、また、既成市街地の更新を促すことで、良好な居住環境を形成します。

iii) 山岳やスキー場などの資源や施設を活かした自然・レクリエーションの場の形成

有峰湖や立山山麓スキー場などの施設や資源、立山黒部アルペンルートへの経由地としての特性を活かし、市民や来街者が自然環境・レクリエーションに親しめる場を形成します。

iv) 都心や拠点間、主要な施設を結ぶ公共交通や主要な道路の適正な保全や整備

上滝駅周辺の市街地・大山研究学園都市などの主要施設を結ぶ公共交通や主要な道路を適正に整備・保全し、周辺地域との円滑な移動環境を形成します。

v) 豊かな森林や水源など自然環境の保全

森林や水源の適正な管理を推進し、豊かな自然環境の保全を図ります。

vi) 安全・安心なまちの形成

洪水や土砂災害などのリスク回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を進めます。

(3) 分野別の方針

①土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none"> ・地域拠点である上滝駅周辺は、地域商業地区とし、駅周辺及び駅前商店街を中心に、最寄り品小売業や金融機関、公共公益施設の充実を図ります。
住宅系	<ul style="list-style-type: none"> ・田園空間や河川空間に接する市街地の縁辺部は、戸建住宅を主体とした住宅専用地区とし、良好な住環境の形成を図ります。 ・富山地方鉄道不二越・上滝線の北側や上滝駅南側は、一定規模の商業機能が立地可能な住居地区とし、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地を形成します。 ・地域商業地区と大川寺駅を結ぶ道路の沿道は、複合用途地区とし、商業、居住が調和した住宅地を形成します。 ・公共交通が便利な圏域では、公共交通の活性化や生活関連機能の充実とあわせて、居住の誘導を図ります。 ・空き地・空き家の適正な管理や有効活用などにより、安全・安心な住環境の形成に努めます。
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none"> ・富山国際大学や職藝学院などの集積を活かした教育機能や関連施設などの保全や充実により、周辺の自然環境との調和に配慮しつつ、学術文化の場を形成します。 ・平野部に位置する農地は、農業保全地域とし、虫食いの農地転用を抑制して、良好な農業・農村環境を保全するとともに、農業体験など、交流の場として活用することを検討します。 ・山間部に近い農地は、優先的に維持する農地と粗放的な管理を行う農地を明確化するなどにより、農業者が減少する中でも、良好な農業・農村環境を維持します。 ・集落地域では、既存コミュニティを活かし、良好な生活環境の形成に努めます。 ・地域の南部に広がる森林は、森林環境保全地域とし、豊かな自然環境や景観の保全を図るとともに、森林を活かしたレクリエーションの場の形成に努めます。

②交通体系の方針

公共交通

- ・富山地方鉄道不二越・上滝線の利便性向上と持続性の確保を図るため、ダイヤの改善、老朽化した施設・設備の更新や改良などを進めます。
- ・生活の足を確保するため、富山地方鉄道立山線やコミュニティバスなどの機能確保に努めます。
- ・上滝駅の周辺などでは、アクセス道路の整備などにより利用環境の改善を図ります。

道路

- ・都心と拠点をつなぐ（主）富山上滝立山線の整備構想の検討などを促進します。
- ・上滝駅へのアクセス道路として（都）上滝駅前線の整備などを進めます。
- ・雷鳥大橋の大規模修繕など、橋梁をはじめとした道路構造物の適正な維持管理・更新を推進します。

③その他の都市施設・機能の方針

公園緑地・まちの緑、レクリエーション

- ・ 殿様林緑地は、みどりの核及びスポーツ活動を主体としたレクリエーションの場の形成を図ります。
- ・ 地域の憩いの場であり、良好な水辺景観を形成している常西合口用水沿いの松・桜並木などの保全に努めます。
- ・ 立山山麓や有峰湖周辺では、観光・交流機能の充実を進めながら、地域資源を活かしたレクリエーションの場の形成に努めます。

河川・水路、上水道、下水道

- ・ 常願寺川などの砂防・治水・発電施設の適正な保全や活用を推進します。
- ・ 避難所などに接続する上下水道施設の耐震化を推進します。
- ・ 大山水処理場などにおいて、下水道施設の老朽化対策を推進します。
- ・ 土地利用に即した下水道整備のあり方の検討を推進します。
- ・ 上滝浄水場及び浄水場に接続する基幹管路の耐震化を推進します。

④都市の質に関する方針

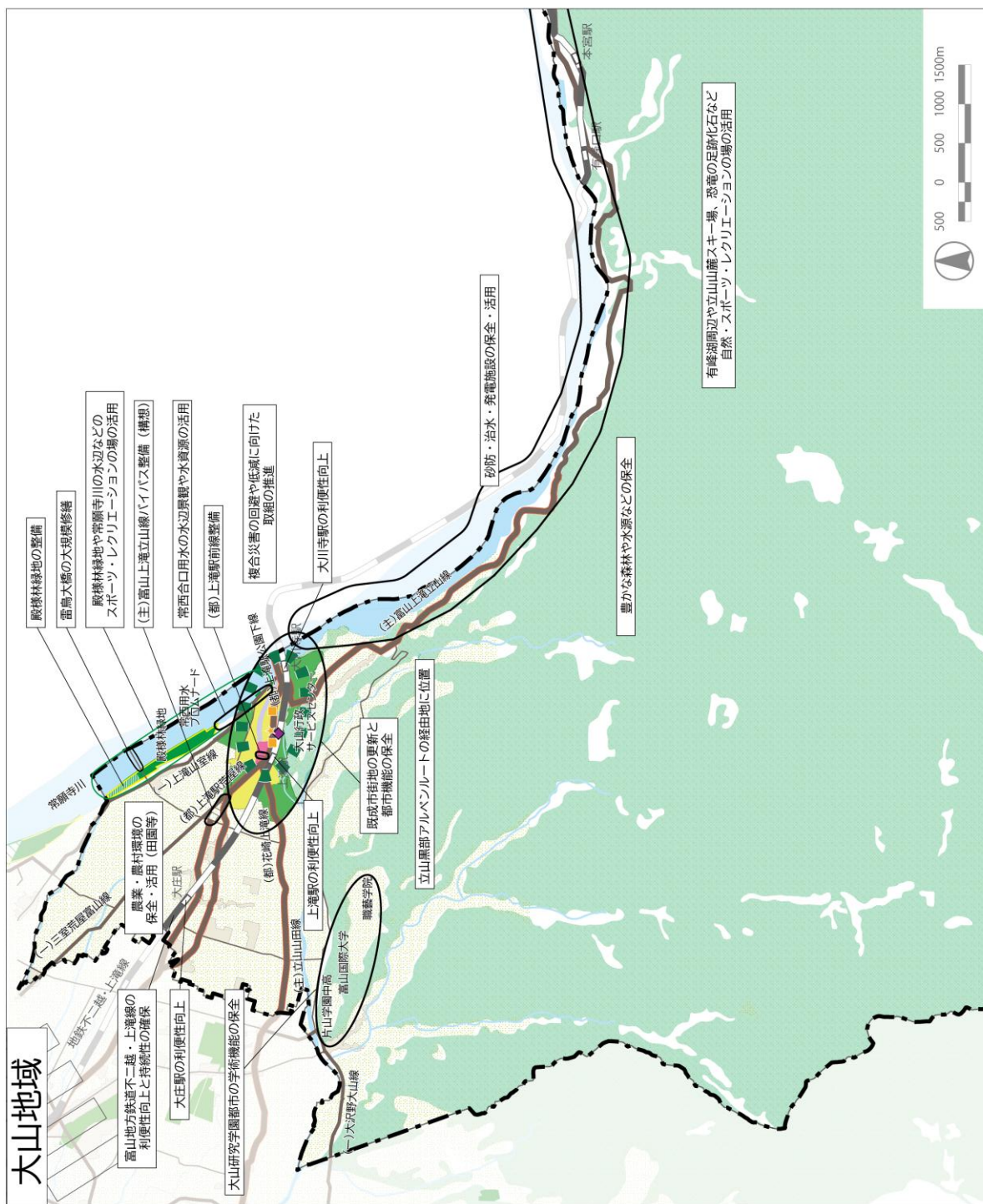
環境、景観、ユニバーサルデザイン

- ・ 公共交通が便利な圏域を中心に、誰もが徒歩や公共交通で移動しやすい生活環境の形成を目指し、公共交通機関・道路・施設間での移動の連続性の確保や公共施設などでのバリアフリー化を推進するとともに、環境に優しいライフスタイルへの転換を市民に促します。
- ・ 常願寺川沿いでは、佐々堤・太田閘門・殿様林など治水に関わる歴史・文化資源や旧街道沿いの歴史的建造物の保全・活用に努め、歴史的景観の形成を図ります。

防災・防犯

- ・ 土砂災害や洪水・雨水出水など危険性の高い箇所では、そのリスクに応じて、居住誘導や新市街地の整備の抑制、災害リスク情報の周知・啓発など、被害を回避・軽減するための取組を進めます。
- ・ 居住環境の維持・向上を図るため、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

■まちづくり方針図



凡例	例
土地用途	<ul style="list-style-type: none"> 地域商業地区 住宅専用地区 住居地区 複合用途地区 農業保全地域 集落地域 森林環境保全地域 水面
交通	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道 主要幹線道路 (今後整備 ※事業中含む) (構想) 幹線道路 (今後整備 ※事業中含む) (構想) 地区幹線道路 (今後整備 ※事業中含む) 都市公園
公園	<ul style="list-style-type: none"> 都市公園 (今後整備 ※事業中含む) 公園 (今後整備 ※事業中含む)
拠点	<ul style="list-style-type: none"> 地域生活拠点 (地域拠点)
境界	<ul style="list-style-type: none"> 地域区分
拠点内の主な施設	<ul style="list-style-type: none"> 商業(スーパーマーケット、生鮮食品取扱のドラッグストア) 金融機能(銀行、郵便局、JAなど) 医療機能(内科)